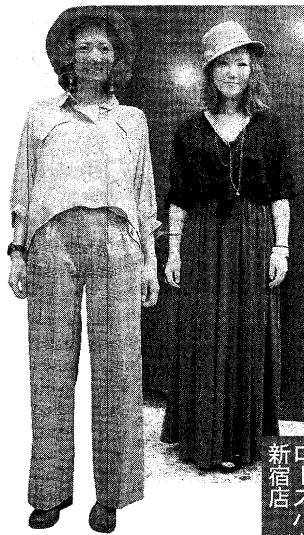


売場観測

専門店
レディス
8月

すぐに着られる秋色



春夏にヒットしたシャツ&ブラウスやワイドパンツ、マキシスカートなどの秋色が売れ始めた。こっくりしたベージュやボルドー、マスタード、オレンジ、グリーンなどに当たりが出ており、秋冬トレンドの「色で遊ぶレトロスタイル」が順調に滑り出している。一番人気は、引き続きシャツ&ブラウスで、落ち感や光沢のある素材、シ

⑥秋色で引き続き人気のシャツは「おじパン（＝おじさん風パンツ）。合わせが新鮮。ドルマンスリーブのショート丈ブラウス8295円、チェック柄ウールのワイドパンツ1万3440円、共に「ローズパッド」ラウンドハット「フェルチオベッキ」7245円
⑦ボトムはワイドパンツと共にマキシスカートに期待。シャツ「ブランディ&メルヴィル」8295円、ガーネット色のマキシスカート「ローズパッド」7245円

ローズパッド
新宿店



クルーン・ア・ソング
銀座マロニエゲート店

⑧春夏から人気のブラウスはプリントで新鮮さを出す「コルテスワークス」1万5750円、大きなリボンが特徴のパンツ「クルーン・ア・ソング」1万5540円、ポシェット「ケンケンケン」2万9400円、ファーブーツ「フラミュウム」3万8850円
⑨早くからファーベストを投入して秋らしさを表現「ジュヌヴィエーヴ」5万400円、ポウタイブラウス「クルーン・ア・ソング」1万290円、レトロな色使いのプリーツスカート「フラミュウム」4万950円

ローズパッド新宿店 70年代のレトロなテイストを色で見せていく。引き続き人気のシャツはマスタード、オレンジ、ピンクベージュなどの秋色に当たりが出ており期待。合わせのワイドパンツやマキシスカートも秋色やおじさん風のチェック柄、落ち感のあるものなどを打ち出す。小物はハットや、例年よりベージュが強いレザーバッグに期待。ブーツはショートかニーハイといった感じだが、サイドゴアやマウンテンなどカジュアルなものが多い。◇ フリーズマート自由が丘店 好調なブラウスやマキシ丈プリーツスカートに引き続き期待する。特にブラウスは何型か仕込んでおり、アイテムとして一番売れると読んでいる。春夏も人気だった透かし編みのニットトップや、それと合わせる買いやすい価格のキャ

ミソールやタンクトップも売れそう。ボルドーに動きが出始めており、今後レンガピンクなども動く。深緑やマスタードなどは様子見。◇ クルーン・ア・ソング銀座マロニエゲート店 7月末から秋物を本格的に立ち上げた。シーズンテーマは「レトロアクトレス」。60、70年代のクラシックスタイルを、色や素材感で表現する。今月は、春夏で人気だったブラウス、パンツの品揃えを引き続き強める。ブラウスは、水玉やハートなどの柄物や、ポウタイで新鮮さを出す。パンツは、グレンチェックやレトロな色使いのテーパードパンツ、キュロットなどを揃える。◇ フィント名古屋バルコ店 秋冬は女優のアンナ・カリーナをイメージしたフレンチテイストの商品を拡充する。



フリーズマート
自由が丘店

⑩7月末の1週間で150枚が売れたマキシ丈プリーツスカートはベージュが人気。スカート5460円、深いV開きが涼しげなボルドーの襟付きブラウス4935円、バッグ3990円、シューズ6930円、全て「フリーズマート」
⑪すぐ着られる素材感と秋らしい色合いが人気の花柄ワンピース5985円、バッグ5460円、シューズ5985円、全て「フリーズマート」



アーバンリサーチ・ロッソ
神戸店

⑫鮮やかな赤が特徴的な半袖シャツ「サムシングエルス」2万790円、共に「ロッソ」で「テニセル」で軽く羽織れるダブルの1ボタンジャケット1万8900円、細かくプリーツの入ったマキシスカート1万8900円、胸元にかけたサングラス「クロエ」2万9400円

●今月のアピール

メルシーやアンナ、ボンジュールなどのロゴ入りブラウスやバッグでは、投入分が完売したものも。ブラウスは花モチーフなどのコントラストのはっきりした刺繍襟や、シフォンのスカーフのようなセーラー襟が付いたものにも期待している。ボトムの主力はショートキュロット。ハイウエストのギャザータイプを秋色で提案する。その他、編み上げベルト付きのシフォンのセミロングスカートも売れそう。◇ ブランシュール心齋橋オーバ店 晩夏・初秋商品ではマスタードイエローや深みのある緑、オレンジなど色に対する反応が良い。まだ暑いのでカットソーアイテムが中心だが、マキシ丈の

ワンピースやTシャツ、ショートパンツなどで秋色やフェザー柄といった新柄を見せる。春夏に売れたワイドパンツなどとコーディネートすることで、「お手持ちのアイテムと合わせやすいですよ」と提案する。チェック柄のシャツにも期待している。◇ アーバンリサーチ・ロッソ神戸店 シンプルなアイテムでも、色使いや小物の使い方も含めてエッジの利いたコーディネートに力を入れる。鮮やかな赤のトップとボルドーのマキシスカート、千鳥格子のコートと深みのある緑のスカートと合わせるなど、目を引く色合わせを見せる。サングラスやプレスレット、意匠性の高いネックレスなど存在感のあるアクセサリーでアクセントを加える。◇ レーヴル（福岡） 今秋物はクラシ



ブランシュール
心齋橋オーバ店

⑬やや長め丈のチェックシャツは前で結び、フェザー柄のマキシ丈ワンピースと組み合わせる新鮮に。チェックのシャツ9345円、マキシ丈のカットソーワンピース9975円、「ブランシュール」
⑭オレンジが人気の透け感のあるボンチョ風ニットプルオーバーは、ボーダーのカットソートップ、春夏に売れたセンタープレスパンツと、ニットプルオーバー7245円、ボーダーカットソートップ6195円、センタープレスパンツ1万3650円、「ブランシュール」

ブラウスやロングボトム



フィント
名古屋バルコ店

⑮柔らかなトップをハイウエストパンツにインして少女のような可愛らしさを表現。スカーフ風セーラー襟付き花柄シフォンブラウス「アンナサザーアンジェラス」、ハイウエストのギャザーショートキュロット「フィント」ともに5040円

⑯ブラウスをインして台形のショートパンツをハイウエストで着るクラシックなスタイルが特徴。ドット柄ブラウス「タップツール」1万2390円、落ち感あるポリエステルショートパンツ「ライザ」1万2600円、ウールハット「アフロディエ」6615円

レーヴル
福岡



ックなデザインや柄を強めていく。トップは白地に小さいドットをプリントしたり、胸元にリボンをあしらったリボン付きのブラウス。ボトムは台形のベルト付きショートパンツや、クラシックなチェック柄のマキシスカート。色はベージュ系を主体に、秋冬トレンドのレンガ色や柿色を差し込む。

7月の結果

セールが異例の6月中旬スタートとなった影響で、やや中だるみ状態となり前年割れた店が目立った。客足はあっても「まとも買いが減り客単価が伸びない」「セールでも必要なものだけ買う」傾向がさらに顕著に。晩夏プロパティの取り組み方でも差が出た。

レーヴル（福岡） 今秋物はクラシ